

道徳科学習指導案

単元名：道徳

「神戸のふっこうはぼくらの手で」

(全1時間扱い中 第1時)

授業日時 令和3年7月9日(金) 第4校時

授業学級 4年2組

授業会場 4年2組教室

授業者

指導者

(1) 主眼(授業の手立てとねらい)

ボランティアについて知ったどのような子どもたちが
ボランティアについてさらに調べる活動を通して
人は支え合っていることを知る、普段の生活を見直し、改善できるようにする。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの動き	・指導 ※留意点 《教材》 【評価】	時間
導入	1. 自分が体験した話をする	「地震」「台風」「氾濫」 「ボランティアって何だろう」 「どんなものがあるのか」	「災害ってどんなの？」 《教材》台風19号の写真、阪神淡路、東日本大震災 ・ボランティア活動の話をする ※自分の体験を具体的に話す ボランティアについて調べてみようか	15
	【学習問題】ボランティアについて調べよう			
展開	2. 調べ学習	「人を助ける」 「お金もらわない」 「お金もらえないの？」 「困っている人がいる」 「ボランティアの定義」	Chromebook を使って調べ学習 【ワークシート】 「なんでも記録しよう」 発表してもらおう	15
	3. 学校生活で考える	「違うと思う」 「みんなのため、学校のため」	「誰かを支えるのは災害のときだけ？」 「今は災害の話だったけど日常ではどうだろう」 ※日常生活へと転換する。 「係、掃除で考えてみよう」 「係や掃除はなんのためにやっているの？」 「本当にそこに向かってとりくんでいるのか」	10
終末	4. まとめ	「掃除さばらないようにしたい」	「人はお互いに支えられている、それを踏まえて普段の生活を見直してほしい」	5
【評価(対象)】普段の生活を見直すことができる (ワークシート)				